

# 「学校へ行きづらい」「教室に入りづらい」 まずは「居場所」づくりから

## お父さんお母さん編

育て方が悪いと家族に思われていて、子供も私もつらい……。



子供のために一生懸命働いているのになんてことだ!

## おじいちゃんおばあちゃん編

困ったのお。孫が学校に行かず、別のところに行っているようだよ。



お嫁さんにもなんて聞けばいいやら分からず、声もかけられないわ。

## ご近所編

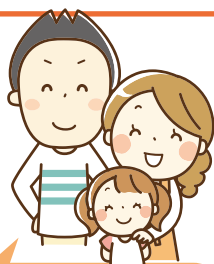


近所の大人は、どんな声かけをしたらいいのかねえ。

〇〇さんのおうち、お子さん学校に行っていないらしいわよ。



**「今がつらい」と言えることは自立への一歩です。否定せず、家族・地域が一体となって、笑顔で対応することが大切です!**



今の子供の姿を受け止めて、何をすればいいか一緒に考えよう。



家族で相談して、子供を見守ろう。助け合い支え合うことが大切。



近所でもあたたかく見守ろう。

学校に行きづらい、教室に入りづらい…そのような様子を「わがまま」「我慢が足りない」などと判断していませんか？ お子さんによっては、集団で生活することに極度に緊張したり、人への気遣いに疲れたりすることで、学校に馴染めないことがあります。誰にでも起こりうることです。

家族や地域が、子供たちの気持ちに寄り添い、子供たちが「自分らしく」活動できる**あたたかい環境(居場所)**をつくるのが大切です。

**お子さんのことで心配なこと、困っていることがあればご相談を！  
学校または、砺波市教育センター(0763-33-1559)**



**教育支援センター「ひよどり」や  
フリースクール等についても相談できます。**

- 学校に行きづらいと感じている子供たちの居場所です。
- (月)～(金) 9:00～15:00 自由な時間に通所できます。
- 無料(昼食は弁当持参)
- 指導員があたたかく対応します。
- 砺波市庄川町青島401 電話 0763-82-5777



**砺波市教育支援センター「ひよどり」**